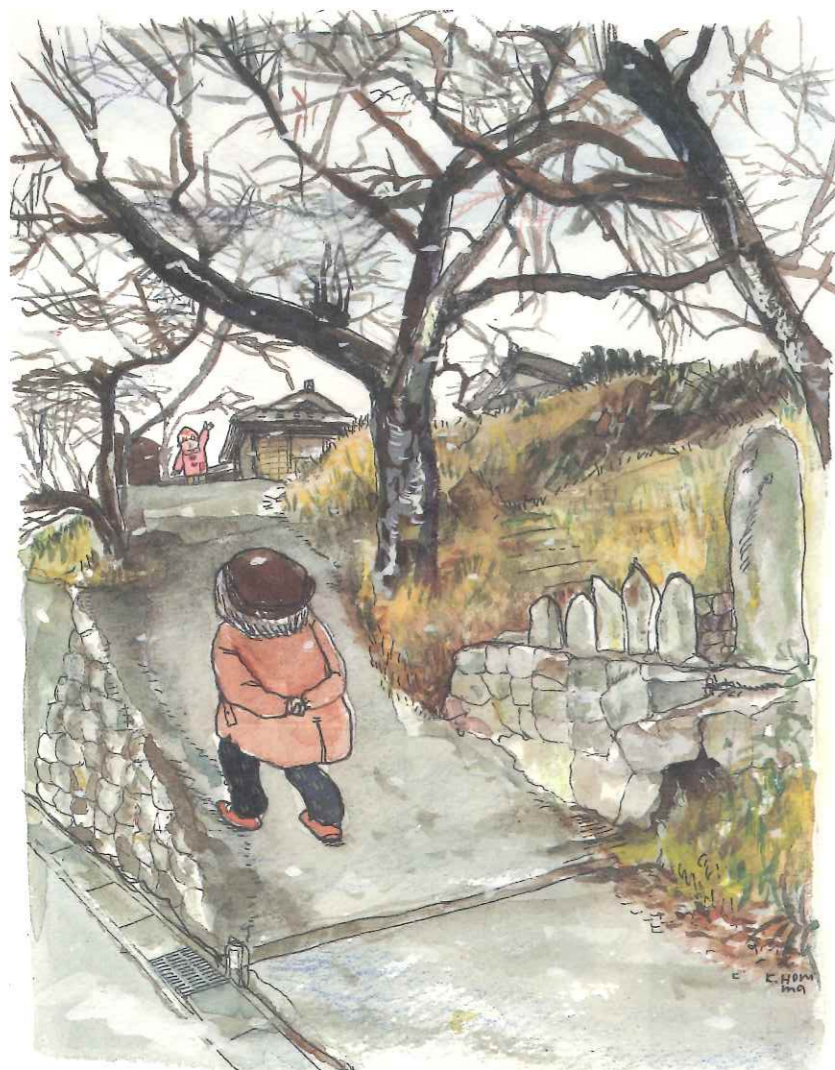


やまもり通信2

vol.54

バレンタインがちかづく、なんだかワクワクしますね。
大切な人に思いを伝えるひと、もらえるかそわそわしているひと、
自分のごほうびに美味しいチョコレートを買うひと、
みんなにとってすてきな1日になりますように。



【加子母の風景】番田の剣の宮。今年は雪が降りません。暖かい大寒です。



やまもり
yamamori

ちかくのいいもん
関西のお店

まごころ料理
鷺見 -sumi-

「岐阜の地酒が飲める店」

今年の大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台、岐阜県には日本酒造りに適した水とお米、そして杜氏たちの伝統の技が今なお生きています。「まごころ料理 鷺見」では、飛騨牛や新鮮な岐阜野菜を使った郷土料理や、岐阜出身の店主おすすめの鍋料理、岐阜の美味しい地酒などを多数ご用意して皆さまのお越しをお待ちしております。



まごころ料理 鷺見 -sumi-
大阪市西区新町1-33-16 日宝新町ビル2F TEL:06-6536-3915
営業時間: ランチ11:30 ~ 15:00 (ラストオーダー 14:30)
ディナー18:00 ~ 22:30 (ラストオーダー 22:00)
定休日: 木曜・祝日

岐阜だより

岐阜県内おすすめのイベント・観光スポット

今回は、今年の大河ドラマ「麒麟がくる」主人公明智光秀ゆかりの3市にオープンした「大河ドラマ館」をご紹介します。

【開館期間】
2020年1月11日(土) ~ 2021年1月11日(月・祝)

- 麒麟がくる 岐阜大河ドラマ館(岐阜市)
明智光秀だけでなく、光秀が仕えた斎藤道三、織田信長にもスポットを当て、体験シアター、大河ドラマに登場の衣裳や小道具などを展示。
【料金】600円(小中学生:200円、未就園児:無料)
【住所】岐阜市大宮町2-18-1 岐阜市歴史博物館2F
- 麒麟がくる 可児大河ドラマ館(可児市)
明智光秀の人物像に関する様々な展示、イベント、グルメが楽しめます。
【料金】500円(高校生以下:200円)
【住所】可児市瀬田1584-1
花フェスタ記念公園花のミュージアム内
- 麒麟がくる 恵那大河ドラマ館(恵那市)
大河ドラマに登場する衣裳や小道具など、大河ドラマに関する展示など、恵那市民から愛され続ける光秀公の魅力や大河ドラマの世界観を展示。恵那市明智町では毎年「光秀まつり」が開催されていて、2020年で48回目を迎えます。
【料金】400円(中学生以下:無料)
【住所】恵那市明智町1304-1 大正口マン館1F展示室

上記に関する情報は岐阜県観光連盟HP(<http://www.kankou-gifu.jp/>)に掲載されています。また、彩都やまもり(箕面市彩都粟生南1-17-26)でも多数パンフレットを取り揃えています。

彩都やまもり ひとりと日記

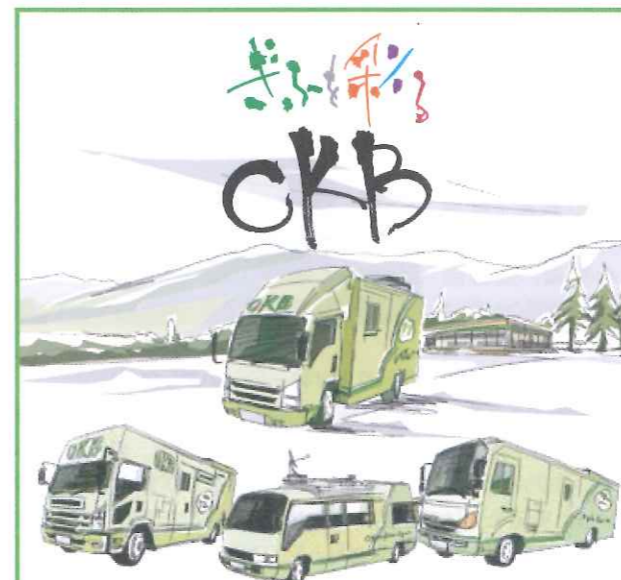
新春もちつき・地酒試飲会

2020年1月18日(土)、彩都やまもりにて毎年恒例「新春もちつき・花餅づくり」を開催しました。今年は気候も良く、例年より多くの方に参加していただきました。小さい子から大人までたくさんの方にも



もちつきを体験してもらい、つきたてのおもちをぜんざいやきなこなどで楽しんでいただくことができました。花餅づくりでは手がおもちでべたべたになりながらも、みなさんとてもきれいな花餅を作られていました。

1月19日(日)には、「岐阜の地酒試飲会」を開催し、約60名の方に岐阜の地酒を味わっていただきました。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」に合わせて可児市から「明智光秀」、岐阜市から「織田信長」、「濃姫」といった登場人物の名前のお酒など、各地の美味しい地酒をご提供いただき、みなさまそれぞれお気に入りのお酒を見つけられていました。また、飛騨市から「ぼっか煮さわ」さんが岩魚と鮎の塩焼き、飛騨牛の串焼きといったお酒に合う料理を実演販売して下さり、みなさまに岐阜の味を知っていただくことができました。2月15日(土)にも今回とはちがうお酒で試飲会を行いますので、ぜひみなさまお気に入りのお酒を見つけにきてください。



OKB移動店舗カルテット

OKBの移動店舗、岐阜県飛騨地区を巡回営業する「OKBスーパーひだ1号」、災害時に被災地での生活をサポートする「OKBレスキュー号」、愛知県東三河地区を巡回営業する「OKBスーパーフロンティア号」、狭い場所・小さなニーズに対応できる小型移動店舗「OKBサザンウィンド」の4台は「OKB移動店舗カルテット」として、地域の皆さまにOKBのサービスをお届けしています。

OKB 大垣共立銀行

<今月のギャラリー案内> 彩輝館ギャラリー

○『岐阜の温泉と地酒で暖まる冬』を開催中。

【期間】～2月17日(月)まで

この冬訪れてほしい「温泉」と美味しい「岐阜の地酒」のご紹介をしています。岐阜県各地から集まった展示用の「地酒」約40本は圧巻です。

○『岐阜に春の訪れ ひなまつり展』を開催します。

【期間】2月20日(木)～3月30日(月)

毎年恒例、岐阜に伝わる「つり雛」や「和紙雛」、「土雛」などを展示紹介します。



彩都やまもりでは、今月も下記イベントを開催します。【申込・お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

《彩都やまもり今月のイベント》

◆岐阜の地酒試飲会 & 産直市

1月大好評だった「岐阜の地酒」試飲会。1月とは違った地酒が楽しめます。恵那市から「黒にんにく」飛騨市から「ぼっか煮さわ」の販売もあります。

2月15日(土) 9:30～

【場所】彩都やまもり敷地内 【参加費】無料



◆ひのきで作る「ゆらゆらおひなさま」

左右にゆらゆら揺れるのがとってもかわいらしい「おひな様」作りです。

2月16日(日) 第1部:10:30～12:00

第2部:13:30～15:00

【場所】加子母子屋 【参加費】800円

【定員】各10名 【持ち物】木工用ボンド



◆Yoga Universeによるアロマヨガ体験教室

昨年11月に大好評だった、ひのきのアロマを取り入れたヨガ体験教室です。

2月20日(木) 第1部:9:30～10:30

第2部:11:00～12:00

【場所】加子母子屋 【参加費】1000円 【定員】各4名

【持ち物】ヨガマット(あれば)、お水、タオル、動きやすい服装

《来月のイベント》

◆かなな削り体験とコサージュ作り

かなな削りの体験とそのかなな花(かななくず)を使ったコサージュ作りのワークショップ。アートフラワーもあしらって自分だけの「コサージュ」を作れません。

3月1日(日) 10:30～12:00

【場所】加子母子屋 【参加費】1200円(おひとり様1作品)

【定員】6名※申し込み多数の場合、第2部(13:30～15:00)開催予定



このほかのイベント開催は随時やまもりHP(<http://yamamori.site>)にて更新します。ご確認ください。

関西発⇒ 活重かけこ板

全国女子駅伝 躍進の岐阜県チームを応援!



1月12日に開催された第38回全国都道府県対抗女子駅伝。今年も京都岐阜県人会で応援と慰労会を行いました。

岐阜県選抜チームは、昨年の記録からタイムを2分38秒縮めて、昨年の38位から26位に大躍進!多くのメンバーが、若い選手中心の新体制となった昨大会から参加した選手ただだけに、喜びもひとしおでした。

毎年選手たちと交流を深めてきた県人会としても、選手たちの成長を感じる嬉しい結果でした。慰労会には昨年より多くの会員が参加し、楽しいひと時となりました。来年も多くの方に応援・慰労会にご参加いただいで、一緒に岐阜県チームを応援できればと思います。

関西岐阜県人連合会役員が「岐阜の地酒試飲会」を盛り上げました!

1月19日(日)に彩都やまもりで初の試み「岐阜の地酒試飲会」を開催。連合会役員の方々の面々も駆けつけ、来場の方々に地酒をPR。試飲会盛り上げに一役買いました。



彩都やまもりのギャラリーでは毎年この時期「岐阜の地酒展」として岐阜県各地の地酒を展示、冬の観光スポット、温泉とともに紹介していますが、ギャラリーを訪れる方々から「試飲はできないのか」といった要望を受けて今回各自治体に打診したところ、集まった地酒はなんと20本以上!中には珍しいレアな地酒も。

飛騨市から「ぼっか煮さわ」さんも会を盛り上げようと鮎や岩魚の塩焼き、飛騨牛の串焼きを実演販売しに遠くから来てくださって、役員自らが地酒を勧める場面も。訪れた人たちはつまみを片手に岐阜の地酒の飲み比べをしていました。

試飲をされた方々から「その場で購入できればよかった」との声も多く聞かれたので、今後の課題として連合会でも取り組んでいけたらと思います。

そのあと、連合会役員たちも懇親会。なかなか会う機会のない役員同士、交流と意見交換で有意義な1日になりました。

なお、地酒の試飲会は2月15日(土)にも開催します。今回とは違う銘柄のお酒の飲み比べにぜひ皆さんもお越しください。

本間希代子 絵描き、イラストレーター 名古屋生まれ、加子母に移住して22年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://febako.jp>

雪が降りません
でも、雪なしの加子母です。
風はビュービュー吹いていますが、
気温も陽射しも春めいています。
「雪かきせずに済んで楽やねー」
では、済まないよんな 気がします。
誰かが「村史」にも、雪が降らない年が
載っていたと言っていました。その翌年は、
飢饉だったと。
飢饉って、学生時代以来だわ、書いたの。
自分(人)のことだけ 考えてちゃだめよと、
地球に警告されてるよーに感じるの、大塚菜
ですわい?。



加子母の人 歴史の道②
第48回 峠の話し 舞台峠

前回に引き続き、昭和55年(1980年)加子母村教育委員会発行の「歴史の道」という冊子を参考に、加子母の歴史をご紹介いたします。まずは北から、小郷地区を。

●小郷(おこ)

村の北端、下呂との境に、加子母で一番戸数も耕作面積も大きな「小郷」地区があります。鎌倉初期に、平家物語に出てくる「文覚上人」が建立したと言われる大威徳寺の寺領であったと伝えられ、村内で最も早くから拓けた地区と言われます。今は、トマトや花のビニールハウスや、飛騨牛の牛舎が多くあります。また、標高も高いので他の地区では雨が降っていても小郷だけは雪が降っているというところも。加子母の中でもさらに人情の深い団結力のある地区でもあります。

●中世に思いを馳せる

その小郷と下呂の境には、舞台峠があります。標高693メートル、北に白山を、南に恵那山を望むことができる日もあります。「歴史の道」には、最明寺入道時頼がこの地に至って舞台を設け、能狂言を催したことで舞台峠と言わ



る石地蔵と法界塔があり、峠の近くには36体の石仏群があるそうです。昭和55年当時の写真を見る限り、完全な山道。ここを歩いて渡った昔の人はすごいなあ。まだほんの少し前のことなのに、今とは違う時間が流れているように感じます。【文責 本間】

今では道路も整備されてビュンと通り過ぎてしましますが、旧道の頂上には、通行人の安全を祈る石地蔵と法界塔があり、峠の近くには36体の石仏群があるそうです。昭和55年当時の写真を見る限り、完全な山道。ここを歩いて渡った昔の人はすごいなあ。まだほんの少し前のことなのに、今とは違う時間が流れているように感じます。【文責 本間】

れるようになったと書いてあります。他にも、源頼朝が白拍子に舞わせたことによる、など諸説あるようですが、ここで何かの芸能が催されたことは確かによつてです。

